



岡山県立大学と総社市との包括協定調印式
平成20年4月 第37号より



片岡市政誕生
平成19年12月 第33号より

当時の広報担当者は語る！

「わたしたちが考え わたしたちが実行するまち、自立する総社市」をキャッチフレーズに片岡総社市政がスタート。職員皆が、言い知れぬ緊張感のなかで吹き寄せる彩秋の風に「これから総社市は変わるな」と感じた時間でした。

第26号～第37号担当 佐田（消防本部）



チュッピーが初登場

平成20年10月 第43号より

新市の名前が決定
平成16年8月号より



平成17年4月創刊号～平成18年3月12号

表紙ロゴ
これだけ変わりました



平成18年4月13号
～平成19年3月25号



平成19年4月26号
～平成19年11月32号



平成19年12月33号
～平成25年3月96号

アルピニスト野口健さん
総社市環境観光大使に
平成20年7月 第40号より



そうじゃ吉備路マラソン復活
平成21年3月 第48号より

広報そうじゃ100号記念企画

変わり続ける総社市 「広報そうじゃ」で振り返る歴史



総社駅前ロータリー完成
平成17年9月 第6号より

当時の広報担当者は語る！

駅前が今の形になって8年がたとうとしています。このようにきれいなロータリーができて道路が広くなり渋滞が緩和されました。総社の玄関口ですので、これからもルールを守って、市民みんなで大事にしていきたいと思えます。

第5号～13号担当 江口（山手公民館）



晴れの国おokayama国体開催
平成17年11月 第8号より

当時の広報担当者は語る！

43年ぶりの岡山国体。私の奉職中には、二度と経験できない世紀のイベントのため、編集にも自然と力が入りました。選手の感動プレーやガッツポーズ、ボランティアの笑顔が、連日の取材疲れを吹き飛ばす素敵な大会でした。

創刊号～第13号担当 赤木（議事事務局）

総社市・山手村・清音村が合併して8年が経過しました。その間、市のさまざまな情報を伝える広報紙は、毎月1回、途絶えることなく発行されています。このたび市民と行政の架け橋でもある広報紙が第100号を迎えることになりました。これまで発行された広報紙を読み解いていくと、変わりゆく総社市を見ることが出来ます。合併後の新総社市の動静。広報紙に掲載した写真や広報担当者のコメントと共に紹介します。



こうして新総社市はスタートした
平成17年4月 創刊号より

当時の広報担当者は語る！

平成17年3月22日。新総社市が誕生した当日は、広報そうじゃ「創刊号」の紙面を飾る写真の撮影や、市民の皆さんの感想を聞きに走り回ったのを覚えています。新しい市が早く一体になれるよう、できるだけ多くの皆さんに登場してもらおうと、企画の内容も工夫しました。

創刊号～第25号担当 内田（税務課）